



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 SPK株式会社

コード番号 7466 URL http://www.spk.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沖 恭一郎

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 藤井 修二 TEL 06-6454-2002

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日—

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	30,303	△7.7	1,384	△5.1	1,385	△3.7	945	△23.1
2020年3月期第3四半期	32,837	2.3	1,459	3.0	1,439	1.3	1,229	13.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 971百万円 (△20.6%) 2020年3月期第3四半期 1,224百万円 (15.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	94.12	—
2020年3月期第3四半期	122.40	—

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	27,330	18,508	67.7
2020年3月期	25,832	17,888	69.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 18,508百万円 2020年3月期 17,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	34.00	—	38.00	72.00
2021年3月期	—	16.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	21.00	37.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,267	△10.5	1,621	△16.7	1,569	△18.8	1,061	△31.7	105.66

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）SPK USA HOLDINGS INC.、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	10,453,800株	2020年3月期	10,453,800株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	411,712株	2020年3月期	411,712株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	10,042,088株	2020年3月期3Q	10,042,110株

（注）当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(追加情報)	7
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの流行再拡大に歯止めがかからない状況のなか、景気の持ち直しの動きはあるものの、経済活動水準は依然低迷し、コロナ禍の長期化・深刻化による雇用・所得環境の悪化が懸念されます。また新興国に加え先進国でも感染が再拡大しており、ワクチンの普及による回復ペースも各国でばらつきが生じる見通しです。今後、国内および世界経済の景気の先行き動向や政治動向にも引続き十分注意を払う必要があります。当社の事業領域である自動車アフターマーケット市場や建機・産業車輛市場においても、引続き国内外の政治・経済動向を注視していくことが必要です。

このような事業環境のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）の当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高303億3百万円（前年同期比7.7%減少）、営業利益13億84百万円（同5.1%減少）、経常利益13億85百万円（同3.7%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益9億45百万円（同23.1%減少）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来の国内営業本部C U S P A部を、事業領域の開拓と意思決定の迅速化を目的として事業本部として独立させ、報告セグメントとしております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

(国内営業本部)

国内営業本部は、新型コロナウイルス感染防止に最大限の対策を講じつつ、自動車補修部品の供給を社会にとっての重要なライフラインと認識し、取引先と一丸となって安定供給の維持継続に務めました。その結果、売上高は178億98百万円となり、前年同期比で0.2%の減収にとどまりました。今後も引き続き本業の補修部品販売に注力しつつ、EV車・HV車の普及をはじめとした自動車業界の大変革に対応し、新規商材の開発・販売にも注力して参ります。

(海外営業本部)

海外営業本部は、当第3四半期は欧州・中東向け輸出は回復の兆しが見られ、北米は輸出および現地販売共に回復基調にあり、またシンガポールの連結子会社の売上もほぼ前年並みまで回復してきておりますが、アジア・中南米向けが引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で市場の回復が遅れており、売上の減少傾向が続いております。その結果、売上高は77億19百万円となり、前年同期比で21.5%の減収となりました。

(工機営業本部)

工機営業本部は、第2四半期までの新型コロナウイルス感染症による減産からの一部顧客の挽回により、小型建設機械や農機の生産の回復がみられましたが、建機・農機・フォークリフト等産業車輛全体での本格的な回復には至っておりません。その結果、売上高は30億92百万円となり、前年同期比で14.5%の減収となりました。

(C U S P A営業本部)

C U S P A営業本部は、新型コロナウイルス感染症の拡大によりカスタマイズパーツの消費マインドが低下、モータースポーツやイベント等の開催が数多く中止され、市場需要が減少する中、SNSによる新たな販促手法の確立や、自社ブランドの新製品投入が奏功して、売上高に大きく寄与しました。その結果、売上高は15億92百万円となり、前年同期比9.6%の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は273億30百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億98百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産が225億23百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億59百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加14億88百万円、及び受取手形及び売掛金の減少4億83百万円によるものです。

固定資産は48億6百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億39百万円の増加となりました。これは主にのれんの増加3億34百万円、及び投資有価証券の増加1億5百万円によるものです。

負債の部では、流動負債が70億67百万円となり、前連結会計年度末と比較して71百万円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加3億51百万円、及び未払法人税等の減少2億48百万円によるものです。

固定負債は17億55百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億6百万円の増加となりました。これは主に長期借入金の増加7億60百万円によるものです。

純資産合計は185億8百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億20百万円の増加となりました。以上の結果、自己資本比率は67.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年6月23日発表時のものからの修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,473,857	6,962,730
受取手形及び売掛金	8,744,819	8,261,367
電子記録債権	1,319,870	1,163,932
たな卸資産	5,136,195	5,426,321
未収入金	457,629	423,849
その他	347,435	303,610
貸倒引当金	△15,591	△18,449
流動資産合計	21,464,216	22,523,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	961,177	939,737
機械装置及び運搬具(純額)	146,791	131,177
土地	1,893,072	1,893,072
リース資産(純額)	53,570	91,256
その他(純額)	88,608	76,462
有形固定資産合計	3,143,220	3,131,707
無形固定資産		
ソフトウェア	30,627	67,746
リース資産	103,152	101,128
のれん	—	334,556
その他	18,323	10,665
無形固定資産合計	152,103	514,097
投資その他の資産		
投資有価証券	256,433	362,182
繰延税金資産	229,294	160,880
退職給付に係る資産	25,970	29,282
その他	571,435	619,070
貸倒引当金	△10,511	△10,245
投資その他の資産合計	1,072,622	1,161,170
固定資産合計	4,367,946	4,806,974
資産合計	25,832,163	27,330,336

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,320,421	4,333,318
短期借入金	845,532	1,196,684
1年内返済予定の長期借入金	363,980	523,559
未払法人税等	415,862	167,420
賞与引当金	205,000	118,161
その他	844,629	727,962
流動負債合計	6,995,425	7,067,106
固定負債		
長期借入金	285,312	1,045,564
退職給付に係る負債	462,337	477,434
長期預り保証金	87,099	86,876
長期未払金	19,236	7,808
その他	94,642	137,395
固定負債合計	948,628	1,755,079
負債合計	7,944,053	8,822,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	898,591	898,591
資本剰余金	961,044	961,044
利益剰余金	16,348,313	16,941,969
自己株式	△435,500	△435,500
株主資本合計	17,772,447	18,366,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95,356	169,372
繰延ヘッジ損益	4,175	2,964
為替換算調整勘定	16,130	△30,290
その他の包括利益累計額合計	115,661	142,045
純資産合計	17,888,109	18,508,150
負債純資産合計	25,832,163	27,330,336

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	32,837,098	30,303,280
売上原価	27,455,896	25,153,506
売上総利益	5,381,202	5,149,773
販売費及び一般管理費	3,921,936	3,765,467
営業利益	1,459,265	1,384,306
営業外収益		
受取利息	840	775
受取配当金	30,207	4,584
仕入割引	96,288	94,479
その他	28,525	69,613
営業外収益合計	155,861	169,454
営業外費用		
支払利息	5,223	5,944
売上割引	121,379	128,718
為替差損	39,423	23,763
その他	9,645	9,647
営業外費用合計	175,671	168,073
経常利益	1,439,455	1,385,686
特別利益		
投資有価証券売却益	356,537	—
出資金売却益	—	3,086
固定資産売却益	—	1,517
特別利益合計	356,537	4,604
特別損失		
事務所移転費用	402	—
固定資産除売却損	43	391
特別損失合計	446	391
税金等調整前四半期純利益	1,795,546	1,389,899
法人税、住民税及び事業税	522,898	406,806
法人税等調整額	43,453	37,963
法人税等合計	566,352	444,770
四半期純利益	1,229,194	945,129
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,229,194	945,129

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,229,194	945,129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,833	74,015
繰延ヘッジ損益	1,934	△1,210
為替換算調整勘定	△32,634	△46,420
その他の包括利益合計	△4,866	26,383
四半期包括利益	1,224,328	971,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,224,328	971,513
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、SPK USA HOLDINGS INC. を新たに設立し、連結の範囲に含めております。その後、2020年10月5日に同社への増資を実行した結果、同社は特定子会社となりました。

また、特定子会社には該当しておりませんが、当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるSPK USA HOLDINGS INC. がNortheast Imported Parts & Accessories, Inc. の株式を取得し完全子会社化したことにより、同社を連結の範囲に含めており、当第3四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症によるロックダウン緩和・解除や経済活動の再開を含む仮定について重要な変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症による経済への影響は不確実性が高く、今後の感染状況によっては当連結会計年度の会計上の見積りに影響を及ぼす可能性があります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：Northeast Imported Parts & Accessories, Inc.

事業の内容：自動車補修部品の販売業

② 企業結合を行った理由

Northeast Imported Parts & Accessories, Inc. は米国市場において、自動車補修部品の販売を行っており、当社が連結子会社化することによって、米国市場における当社の自動車補修部品市場の事業領域をより一層拡大させることができるとともに、今後の当社グループの発展に大いに寄与するものと判断致しました。

③ 企業結合日

2020年10月16日

④ 企業結合の法定形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社であるSPK USA HOLDINGS INC. が、現金を対価として株式を取得したことによるものです。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当第3四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しているため、当第3四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	450万米ドル
取得原価		450万米ドル

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

財務及び法務に関する調査費用 17,620千円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん金額

334,556千円

なお、のれん金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

② 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

③ 償却方法及び償却期間

効果の発現する期間にわたって均等償却いたします。なお、償却期間については、取得原価の配分の結果を踏まえて決定する予定です。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。